

狼のお姉さんに
襲われた事件から
数日が経った頃…

怪しいお薬の力で仕返し
したは良いもののまた
別の問題が起こった：

こつ…こんばんはあ…
夜分遅くにすみません…

あの日からずっと
狼の姉ちゃんに
付きまとわれちまって

なんね
今度はツ

あんたまた
余計なこと
言つたんか？

ちげえって！
てかそもそも
あの薬でー！

ゆ…許して！
あれは薬のせいです
僕…ツ…

お…怯えないで…
悪いことしに来た
んじゃない…から

開けて
やりんさい
んえっ!?

ついに
ここまで

なんとかなる
から…

ば…ばっちゃんア!!
助けてツたすけて!!

助けてくれ
ばっちゃんア!!

次こそは完全に
人間を○す目して

人間を○す目して

いまいづみ かげろう
今泉 影狼

むしろ…お願ひが
あつて来たの…



あつは…♥
君のお祖母ちゃん
優しい人なんだね

薄々思つてたけど：
さつちやは明らかに
この姉ちゃんの味方
だろ：

お姉ちゃんの：おつきくて
隙間でよだれヌルヌルして
腰が…力入んなくなる…う

どうして…
どうしてこんな
ことになつて…

でも丁度
良かったあ…

君にあの時
「好きな匂い」って
言われて
嬉しかつたけど…

やっぱ私も
一匹の雌だから…
綺麗な状態でも
愛でられたいのよ

…どうかな♥
匂い関係なく
魅力的な私…？

先に
洗つてあげたのに
こつちは凄く
濃い臭いだね！♥

乙女にここまで
させて引くような
男は孫にいらん！
ほれ風呂場貸すから
二人とも行きんさい

一目見たら
わかつちゃう
かあ！♥

ちょっと…
胸で…！

お姉ちゃんの：おつきくて
隙間でよだれヌルヌルして
腰が…力入んなくなる…う



こうして完全に
狼のお姉さんの番と
なってしまったのだった







